

《プレスリリース》

10月18日(予選シリーズ2日目)

2 種目で日本人が暫定トップに！

セーリング W 杯 レース日 2 日目

数日ぶりに太陽が顔をのぞかせた三河湾を舞台に、セーリング W 杯 2 日目の熱戦が繰り広げられ、活躍が期待される 470 級女子、高速ハイパフォーマンス艇の 49erFX 級、今大会最大エントリー数のレーザー級、軽風で難しいコンディションとなった RS:X 級女子の 4 種目で、日本人がトップフィニッシュする活躍を見せました。



左) 第 3 レースでトップフィニッシュしたレーザー級の瀬川。総合 20 位。

右) 49erFX 級第 4 レースでトップフィニッシュし、総合 2 位につけた原田/永松組

Sailing's World Cup Series Gamagori©JUNICHI HIRAI/BULKHEAD magazine JAPAN

【470 級男子】

上位に日本チームが並ぶ 470 級男子は今日 1 レース行われ、昨日 2 位の磯崎哲也/高柳彬組が 2 位でフィニッシュし、暫定でトップに躍り出ました。2 位はイタリアの若手 Capurro/Puppo 組、昨日 1 位だったリオ五輪銀メダリスト、オーストラリアの Belcher/Ryan 組は 3 位に後退しました。「初日の出だしがうまくいかなかったですが、徐々に修正できているので最終日に一番良いところにいけるよう、がんばっていきたいです」と話す市野直毅/長谷川孝組は 4 位にジャンプアップしています。

【470 級女子】

470 級女子は、吉田愛/吉岡美帆組が第 3 レースで 1 位フィニッシュ。本人たちが課題だという軽風でも危なげないレース運びでした。順位は昨日と同じ 4 位ですが、3 位との差は僅か 1 点となり、表彰台が見えてきました。

【49er 級男子】

今日 3 レースが行われた 49er 級は、実力伯仲でハイレベルな戦いが繰り広げられています。古谷信玄/八山慎司組は順位を一つ下げて 12 位となりましたが、学生ペアの高橋稜/小泉維吹組が 19 位から 13 位に順位を上げています。

【49erFX 級女子】

1 レースを消化した 49erFX 級では、原田小夜子/永松瀬羅組が 1 位でフィニッシュ。スキッパーの原田は「自分たちは強風だと技術的にも体力的にも不安が多いのですが、今大会は 2 日間とも風が弱く、動作も落ち着いて、また 2 人の話し合いもしっかりできます。レースに集中できることが、結果に結びついていると思います」と自信を覗かせました。

【レーザー級男子】

今日圧巻だったのは、レーザー級の第 3 レースです。風の振れがある難しいコンディションでしたが、瀬川和正がリオ五輪金メダリストの Tom Burton や、2017 年世界チャンピオンの Pavlos Kontides など蒼々たるメンバーを従えて堂々の 1 位。瀬川は順位を 20 位に上げました。

【レーザーラジアル級女子】

35 艇が争うレーザーラジアル級には、国体で活躍する多田桃子と富部柚三子がエントリーしています。今日は難しいコンディションで 2 レースが行われ、残念ながら 2 人とも順位を落としてしまいました。

【RS:X 級男子】

RS:X 級男子は風が弱く、長い風待ちの後に延期となったため順位に変動はありません。

【RS:X 級女子】

RS:X 級女子は 1 レースが行われ、大西富士子が 1 位、小嶺恵美が 2 位と日本人選手がワンツーフィニッシュしました。小嶺は暫定トップで後半戦に臨みます。

470 級男子、RS:X 級女子の 2 種目で日本人が暫定トップに立つなど、初開催のセーリングワールドカップで日本人のメダル獲得が現実的になってきました。しかし、台風 21 号の接近とともに徐々に風や波が強まることが予想されます。外国勢の中には強風を得意とする選手も多いので今後のレース展開から目が離せません。

【レース 2 日目の日本人選手の成績】

●470 級男子（参加 24 艇 12 カ国）

- 1 位：磯崎 哲也（エス・ピー・ネットワーク）/高柳 彬（日本経済大学）
4 位：市野 直毅（所属なし）/長谷川 孝（横浜ゴム）
6 位：今村 亮（一宮開発グループ）/外薮 潤平（JR 九州）
7 位：高山 大智（YAMAHA Sailing Team‘Revs’）/今村 公彦（YAMAHA Sailing Team‘Revs’）
9 位：土居 一斗（アビームコンサルティング）/木村 直矢（アビームコンサルティング/日本大学）
18 位：神木 聖（YAMAHA Sailing Team‘Revs’）/疋田 大晟（YAMAHA Sailing Team‘Revs’）
19 位：小泉 颯作（トヨタ自動車東日本）/野田 友哉（日本経済大学）
22 位：河合 龍太郎（三井住友海上火災保険）/中澤 太郎（三井住友海上火災保険）

●470 級女子（参加 14 艇 7 カ国）

- 4 位：吉田 愛（ベネッセホールディングス）/吉岡 美帆（ベネッセホールディングス）
9 位：林 優季（明海大学職員）/西代 周（明海大学職員）
12 位：山本 佑莉（鳥取県セーリング連盟）/斎藤 由莉（早稲田大学）
13 位：宇田川 真乃（YAMAHA Sailing Team‘Revs’）/関 友里恵（YAMAHA Sailing Team‘Revs’）

●49er 級男子（参加 20 艇 11 カ国）

- 12 位：古谷 信玄（エス・ピー・ネットワーク）/八山 慎司（エス・ピー・ネットワーク）
13 位：高橋 稜（オークランド大学）/小泉 維吹（早稲田大学）

●49erFX 級女子（参加 9 艇 5 カ国）

- 2 位：原田 小夜子（豊田自動織機）/永松 瀬羅（豊田自動織機）
4 位：波多江 慶（豊田自動織機）/板倉 広佳（豊田自動織機）
9 位：山崎 アンナ（ノエビア/日本体育大学） 高野 芹奈（ノエビア/関西大学）

●レーザー級男子（参加 50 艇 23 カ国）

- 20 位：瀬川 和正（鳥取県立米子産業体育館）
39 位：南里 研二（三重県体育協会事務局）
46 位：樋口 碧（神奈川県セーリング連盟/エニタイムフィットネス関内）
49 位：北村 勇一郎（関東学院大学）

●レーザーラジアル級女子（参加 35 艇 21 カ国）

- 25 位：富部 柚三子（福井県体育協会）
28 位：多田 桃子（三重トヨタ自動車）



Japan 2017
World Cup
Series



●RS:X 級男子(参加 19 艇 9 カ国)

6 位：富澤 慎（トヨタ自動車東日本）

10 位：池田 健星（明治大学・KAYA）

17 位：尾川 潤（島精機製作所）

18 位：倉持 大也（福井県体育協会）

19 位：福村 拓也（豊田自動織機）

●RS:X 級女子（参加 13 艇 6 カ国）

1 位：小嶺 恵美（一宮開発グループ/ジェイウィルコーポレーション）

3 位：大西 富士子（ホマレ電池）

9 位：須長 由季（ミキハウス）

10 位：伊勢田 愛（福井県体育協会）

13 位：松浦 花咲実（大阪学院高等学校）

14 位：山辺 美希（サガミ）

【成績表】

<http://sailing.org/worldcup/results/index.php>

【レースライブ航跡図】

レース艇は全艇 GPS を搭載しており、ライブ航跡図は以下でご覧いただけます。

<https://wcs2018-gamagori.sapsailing.com/>

【報道記事用の公式写真】

高解像度のエディトリアルフリー（報道記事用の無料写真）写真は以下からダウンロードしてお使いいただけます。パスワードは **WSimages** です。

<https://worldsailing.photoshelter.com/gallery-collection/WCS-Gamagori-2017/C0000B8AxwR4QL6U>.

【テレビ放送用公式映像】

テレビ放送用の公式映像は 19 日（木）～22 日（日）に提供可能です。素材の提供はクラウド経由で行います。レース画像、選手インタビューなどのリクエストには下記までお問い合わせください。

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】

セーリング ワールドカップ 愛知・蒲郡大会 プレス担当：西 朝子(にし ともこ)

Tel: 090-1042-9262 Email: press@swc-jsaf.org

<http://swc-gamagori.jp/>

<http://www.sailing.org/worldcup/>